

令和2年2月6日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題

出雲市アグリビジネススクールで担い手育成

(ダイジェスト)

出雲市農業再生協議会は、令和元年1月8日、「出雲市アグリビジネススクール」の令和元年修了式・令和2年開講式を開催しました。令和元年は、5講座29名が修了し、令和2年には新たに28名が受講します。

出雲市農業再生協議会は、新規就農、定年帰農を目指す人を対象として、平成18年から「出雲市アグリビジネススクール」を実施しています。講座は、JAしまね出雲地区本部の各生産部会の協力を得て、認定農業者、農業普及員、JA営農相談員等が講師となり、1月から12月まで講義と実習により栽培技術や経営管理を習得するものです。

令和元年は、5講座（柿・ぶどう・いちじく・産直野菜・菊）で29名の受講生が修了し、令和2年は、4講座（柿・ぶどう・いちじく・産直野菜）で28名が受講することとなりました。元年の修了生は、7名が就農相談を行うなど、新規就農へ向けた動きにも繋がっています。

式では、修了証書と受講許可証が交付され、修了者を代表して産直野菜講座の受講生から、「講座で学び、栽培面だけでなく衛生面にも気をつけるようになった。これからも創意工夫しながら栽培していきたい」、令和2年のぶどう講座の受講生からは、「熱心に受講し、活躍できるよう精進したい」と決意と抱負が述べられました。

また、主催者、来賓からは、「しっかり学んで農業の担い手に育ってほしい」旨の励ましの言葉もありました。

担い手の確保・育成は重要な課題であり、多くの受講生が農業に携わり、担い手となるよう、農業普及部としても関係機関・団体と連携しながら支援していきます。



修了証書授与の様子